

上野総合市民病院だより

◆ X線透視装置を更新しました

昨年10月に当院のX線透視装置を更新しました。X線透視装置は、レントゲンとは異なり、テレビモニターでリアルタイムに体内の臓器や造影剤の様子を観察することができる装置で、胃や腸などの消化器疾患の検査や治療には欠かせません。

本装置は、寝台を大きく動かすことなく検査ができるため、患者さんの負担軽減に加え、安全性も向上しています。また、高画質な画像により体内の臓器や病変を鮮明に描出できるため、正確な診断や治療につながります。さらに、画像処理技術の向



ライガとライナ



上により、被ばく線量の低減にも配慮しています。当院では、内視鏡を用いた検査や治療、消化管へのチューブ挿入など、さまざまな検査・処置に活用しています。

当院では、地域の皆さんが安心して受診できるよう、先進的な医療機器を導入し、これからもより質の高い医療サービスの提供に取り組めます。

(放射線技術課 林 大也)

伊賀の歴史余話 49

目で見て学ぶ植物～黒川喬雄の植物標本～

伊賀地域の植物研究者といえば、大正7（1918）年から36年間にわたり上野で教鞭を執り、「イガザサ」「アヤマスズ」などの新種を発見した黒川喬雄が挙げられます。彼は生徒が体験できる教育を理念としていて、野外観察や植物採取など、直に自然に触れることができる授業を行いました。例えば、手製の盆栽を教室に運んだり、長期休暇の際に植物採取や観察の宿題を出すなど、教科書を読むだけではなく実際の自然を体験できるように工夫を凝らしました。

市に寄贈されている黒川の植物標本は、昭和初期から昭和35（1960）年までを区切りとしてまとめられたものです。教鞭を執っていた時期に採取したものも多く、約1,400点も残された標本は、実際に授業でも活用されました。黒川の作成した標本は、生徒たちが標本を見て植物に興味を持つことを意図したものが多く、そのため一般的な標本とは異なり、解説などが細かく書き込まれています。

写真は昭和13（1938）年10月に三田で採取さ

れたセンブリとイヌセンブリです。リンドウ科の植物で、採取された10月頃に紫色の線が入った白色の花をつけます。イヌセンブリは環境省レッドリストにて絶滅危惧種に指定され、現在では個体数が減少しています。この標本ではセンブリとイヌセンブリを一緒に配置し、花卉や葉、薬効の有無などの特徴を記載しています。また、学名などの変化する可能性がある項目に関しては修正できるよう鉛筆で記載しています。

初心者が差異を目で見てすぐに理解できるよう配慮された黒川の標本は、教材としても植物学の資料としても貴重なものといえます。



▲センブリとイヌセンブリ

文化財課歴史資料係 ☎/FAX 41-2271

明日に向かって～差別をなくしていくために～

地区懇に参加しませんか 一人権政策課

「人権啓発地区別懇談会（地区懇：ちくこん）」をご存じですか。これは、差別をなくすために地域住民が集まり、さまざまな人権問題について自分の思いや考えを語り合うということを目的に行っています。また、地域住民同士のつながりを作り、自分たちで話し合い、地域の課題を解決する力をつけていくことも目的の一つです。

皆さんは地区懇に参加されたことはありますか。「差別はいけないことだと分かっているし、私は差別をしないから関係ない」「人権の勉強会は、意見を求められるから苦手だ」と感じている人も多いのではないのでしょうか。以前は、私も自ら進んでそのような場に参加していたわけではありませんでした。当時の私は、「正しい答えを言わないといけない」「間違えたことを言ってしまったらどうしよう」という思いから、苦手意識を持っていたのかもしれ

ません。

しかし、地区懇をはじめ、さまざまな研修会や学習会、交流会に参加する中で、大切なのは、「正しいことを言う」のではなく、「自分自身のありのままの想いを伝える」ことだと気がきました。

一人ひとりがそれぞれ思いや考えを持っています。それらを共有し、お互いに相手の意見を尊重しながら共に考えを深めていく先に、差別をなくし、誰もが住みやすい地域社会があるのではないのでしょうか。

地区懇は、自分とは異なる視点や、さまざまな人の想いに触れることができる貴重な機会です。今年も市内各地で開催される予定ですので、ぜひ参加していただき、さまざまな人の想いに触れ、自分自身を見つめる機会にしていいただければと思います。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ



「イガプロ」とは、「イガ」と「プロダクト（製品）」、「プロフェッショナル（専門家）」などさまざまな「プロ」を掛け合わせた造語です。

SDG IGA SDG 伊賀株式会社

当社は伊賀の地で、風を送り、空気をきれいにする「送風機」「集じん機」といった、さまざまな産業を支える重要な機械を製造しています。堅実なものづくり企業であると同時に、モーターサイクリススポーツなどの活動を展開する、アクティブでカッコいい一面も持っています。

このモータースポーツ活動やバスフィッシング業界とのつながりを生かし、顧客開拓へとつなげています。

一方で、年に一度の秋祭りでは、従業員の家族や取引先の皆さんを招待し、無料の出店や「いもほり体験」などで大いに盛り上がります。グループ会社とも顔を合わせ、抜群のチームワークを育む大切な機会です。「買う身になって深切に」という顧客志向を大切に、確かな技術と多彩な魅力で、私たちはこれからも成長を続けます。

◆社員のコメント

産業用送風機や集じん機は普段あまり目にする機会が少ない製品ですが、多くのものづくりの現場を支える重要な役割を担っています。

入社して3年が経ち、少しずつできることが増え、自分が携わった製品が社会の役に立っていることにやりがいを感じています。

また、週休3日制なので仕事とプライベートのメリハリをつけやすく、趣味や家族との時間もしっかり確保できます。働きやすい環境の中で成長できることが、この会社の魅力だと感じています。（製造グループ 村上想）



◆会社概要

【設立】 1962年12月

【所在地】 下柘植 5030

【従業員数】 81人

【事業概要】

送風機・集じん機の製造

【連絡先】 ☎ 45-2721

<https://www.sdg-eng.com/>



問 産業政策課 ☎ 22-9727 FAX 22-9695